

## 県産材の大口需要先への木材の安定供給に向けて

### 1 はじめに

平成27年1月、北上市に県産材の新たな大口需要先である北上プライウッド(株)の合板工場が完成し、現在、5月からの本格操業に向けた準備を進めています。

### 2 花北地域木材安定供給促進会議の設置

当センターでは、地元で設立された合板工場等の木材の大口需要先への原木の安定供給に向け、関係機関・団体が情報共有、課題解決の取り組みを進める場として、昨年7月に「花北地域木材安定供給促進会議」(以下、促進会議)を設置しました。

構成員は、管内市町、森林組合及び素材生産業者です。また、アドバイザーとして、岩手県森林組合連合会にも参加をいただいています。

促進会議は、昨年7月に第1回目を開催し、第2回目(10月)及び第3回目(今年3月)には、木材の需要先である北上プライウッド(株)からも出席をいただきました。



写真 花北地域木材安定供給促進会議の様子

### 3 安定供給に向けての取り組み

北上プライウッド(株)への原木供給は、岩手県森林組合連合会が北上プライウッド(株)と締結した年間供給量約10万 $\text{m}^3$ の原木の安定取引協定に基づき、県内森林組合及び素材生産業者が行います。

合板工場のニーズに応えるためには、年間供給量を確保するだけでなく、月毎の供給量を平準化することが極めて重要であることから、岩手県森林組合連合会では、岩手県森林組合木材安定供給協議会を組織し、県内8箇所ストックポイントを設置しています。

花北地域は、年間1.3万 $\text{m}^3$ の原木供給を、割り当てられています。

促進会議では、工場に近い条件を活かし、森林組合間及び森林組合と素材生産事業者間で連携を強めて、森林組合毎に月毎の供給量を確認し合い、供給計画を策定しました。

また、市町有林における搬出間伐の事業量の確保を依頼するとともに、将来的な森林資源量確保のため、再造林に向けた取り組みの必要性についても話し合いを行っています。

### 4 今後

花北地域では、北上プライウッド(株)に続き、木質バイオマス発電が計画されています。

これらの施設を核として、木材のカスケード利用を進めるため、木材の安定供給体制の構築を促進するとともに、これを軸に地域林業の活性化につなげたいと考えています。

また、促進会議では、今後も、森林組合、素材生産業者の連携強化、情報共有等に努めていく予定です。